

観光創造専攻

平成29年度
後期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1,000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配付されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1,600～2,000 字の日本語（横書き）で解答しなさい。
なお、適当な位置で改行して段落に分けること。
また字数は改行による空白を含めて計算する。

欧米では以前よりガストロノミーツーリズム（食文化観光）の取り組みが盛んである。ガストロノミーツーリズムとは、独特の食文化を持った地域を訪れ、地域文化や伝統と共に食を味わう観光スタイルである。日本でも近年、地域活性化やインバウンド促進などの方策として活用されている。

まず、こうした潮流の社会的背景として、どのようなことが考えられるかを示しなさい。その上で、ガストロノミーツーリズムの発展の可能性や課題について、これに関わる様々な人の立場を考慮しながら、あなた自身の考えを論じなさい。